

文教いしかわ

BUNKYO ISHIKAWA

石川県文教会館 2022.2

No.85



－特集－

1 頁：自分らしく生きるために ～学びを活かした社会参加を～

石川県教育委員会事務局 生涯学習課長 清水 茂氏

2・3頁：特集 「東京オリンピック・パラリンピックを振り返る」～スポーツの力・人間の力を忘れない～

石川県県民文化スポーツ部 次長 田井 友章氏

自分らしく生きるために ～学びを活かした社会参加を～

石川県教育委員会事務局 生涯学習課長 清水 茂



昨年コロナ禍の中開催された東京2020オリンピック&パラリンピックでは、競技はもとより、開閉会式等を含めた運営全体に、大会ビジョンの1つとしている「多様性と調和」を目指すためのメッセージが発信されていました。また、人

種や性別、年齢、障害の有無に関わらず、懸命に競技に臨むアスリートたちからは、自分らしさを発揮できる素晴らしいさと多くの方々と感動を共有できるスポーツの力を改めて感じさせていただきました。

当然のことながら、この地球上に自分という存在は一人としかいません。唯一無二の存在価値である自分に対し、本来ならば自信を持ってしかるべきなのですが、他人の眼を気にして自分らしくできない。自信を持たずに、周囲の意見や行動についぞ合わせてしまう、いわゆる同調圧力に屈して悶々と過ごす人びとが日本人には多い気がします。それを裏付けるかのように、青少年の自己肯定感他国と比べて低いという統計データもあります。

では、いかにして自分への自信を育てていくことができるのでしょうか。私は、その大きな支えとなるのが学びによる力だと考えています。幕末の思想家、教育家であった吉田松陰の語録に学びの本質をつくものがあります。「学は人たるゆえんを学ぶなり」学ぶのは知識を得るためでもなく、職を得るためでもなく、己を磨くため。世の中の為に己がすべきことを知るため。という意味があるそうです。

学びというと堅苦しく思われがちですが、本来学びとは楽しいものです。そして、人間にはだれしも学びたいという根源的な欲求があり、させられる学びでなく、自分が欲する学びを存分に行うことで自らの成長が実感でき、自分への自信が深まるものと考えます。

社会教育や生涯学習が提供する学びの機会はまさにそこに住む人たちの主体的な学びをつくるものであり、県とし

ても、「いつでも、どこでも、だれでも」学べる環境作りをいっそう進めていきたいと考えています。

昨年度末に改定した、第3次石川の教育振興基本計画においても、「生涯にわたり学び続ける環境作りの推進」を引き続き基本目標の一つとして掲げました。めまぐるしく変化する社会において、県民一人一人が豊かな生涯を送るために必要な知識や技能はこれまで以上に多岐にわたり、その内容も高度化していくことでしょう。多様な県民の学びのニーズにも応えるべく、県が30年以上にわたって開催している県民大学校においても、市町をはじめ様々な教育機関ともいっそう連携を図り、講座内容の充実にも努めてまいります。加えて、コロナ禍で加速したICT化を受けて、講座の動画配信等、新たな学習サービスが創出できるようさらに検討を進めてまいります。

人は学びの楽しさを感じれば、学びを続けようとし、そして、学びたいことを学ぶ時間を持ち続けることは、自分らしい豊かな人生づくりにつながります。

ただ、謙虚さを美德とする国民性なのか、その学びを自分の中だけに収めてしまう自己完結型の人が多いのも確かです。社会を活性化させる観点からすればもったいない気がしてなりません。学びを深めるためには、発信すること(アウトプット)が近道とも言われます。惜しむらくはその学びを社会に活かすことができたなら、自分自身もいっそう輝くはずで、私の知人で、趣味の講座で学んだ手話を活かそうと、実際に聴覚障害者の方々の集まりにボランティア参加している方がいます。交流する中で、これからの生き方を含め学ぶべきことが多いと楽しそうに話してくれました。

このように、自身の学びを社会の役立つものに発展させていくことで、自分も社会も潤う学びの好循環が生まれます。県教委としても、市町や社会教育関係団体等と連携し、学習の成果を公民館等の社会教育施設や学校などで活かす機会づくりにいっそう取り組んでまいります。

「東京オリンピック・パラリンピックを振り返る」 ～スポーツの力・人間の力を忘れない～

石川県県民文化スポーツ部 次長 田井 友章



＜はじめに＞

本県では「東京大会の開催効果を最大限県内に波及させる」ことを目的に、2014年11月、谷本知事を本部長に全部局で構成された「東京オリンピック・パラリンピック関連事業推進本部」を立ち上げ、「選手強化・合宿誘致」、「魅力発信・国際交流」、「関連製品活用」、「文化事業連携強化」に取り組んできました。

本稿では、これらの取り組みの中から県民文化スポーツ部スポーツ振興課と県教育委員会保健体育課が担当した事業について紹介します。どの事業も各市町、各競技団体、各学校等、関係する多くの方々の絶大なるご協力があってこそ実施できたものばかりです。

1. 競技力向上

東京オリンピックを視野に、国際大会で活躍できる若手アスリートを育成・強化する目的で、2014年から5年間にわたり「いしかわグローバルアスリート支援事業」を実施。対象となった8競技団体の延べ226名の選手に海外遠征に係る経費等の支援を行い、このうち36名が世界選手権をはじめとした各種国際大会の日本代表として活躍しました。2019年にはこれらの選手の中から、オリンピック出場が有望な3競技13名の選手を対象に「いしかわオリンピック特別強化支援事業」を実施し、トランポリンの森ひかる選手をはじめ7名がオリンピック出場を果たしました。

同様に、パラリンピック出場を目指す選手の強化に向けた支援「障害者アスリート支援事業」を2017年から実施し、銀メダリストとなったボッチャの田中恵子選手もこの事業を活用しました。

最終的に東京大会に出場した本県ゆかりの選手は22名、メダル獲得者は5名。いずれも過去最多です。

2. 合宿誘致

県内の競技者や子供たちが世界のトップアスリートのプレーに触れ、その競技に興味を持ってもらうことでスポーツの裾野が広がることを期待し、2014年から地元市町や競技団体とともに事前合宿の誘致を進め、最終的に8競技延べ19カ国の合宿が実現しました。新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する中、オンラインを活用して地元の子供たちと選手等が交流を行ったほか、選手等に日本文化を体験してもらうため、オンライン講師による金箔貼りや浴衣の着付け、書道体験などに加え、スイカやブドウ、ナシといった石川の旬の果物を差し入れたり、街中を自由に歩けない選手団の日用品の買い出しを代行したりするなど、きめ細かな対応を行ってきました。こうした各市町の工夫した「おもてなし」はとても喜ばれ、大会終了後には合宿に来られた多くの方から感謝の意を伝える手紙やビデオメッセージが改めて届きました。



事前合宿 書道体験

事前合宿国一覧

競技名	受入市町	国名	競技名	受入市町	国名
水泳	金沢市	フランス	テコンドー	穴水町	ロシア
		ロシア		加賀市	ボルトガル
フエイトリフティング	金沢市	フランス	パラカヌー	小松市	英国
カヌー	小松市	ニュージーランド			カナダ
		英国			フランス
		フランス			ニュージーランド
		スロベニア	ボルトガル		
柔道	加賀市	ボルトガル	パラ水泳	金沢市	フランス
	白山市	ボルトガル	志賀町	アゼルバイジャン	

なお、本県で合宿を行った選手は、金メダル12個を含め、計28個のメダルを獲得するという素晴らしい成績を収めています。

3. 聖火リレー

2018年9月よりオリンピック聖火リレーの準備が着々と進められました。しかし、2021年5月、県内の新型コロナウイルスの感染状況が悪化していたことから、本番2週間前に公道を走る当初の計画を断念し、代わりにトーチキスリレーという形で、5月31日に金沢城公園三の丸広場、6月1日は和倉温泉湯っ

足りパークにおいて実施することになりました。急な変更にもかかわらず、松本薫さん(ロンドン五輪柔道金メダリスト)や若



トーチキス後のポーズ

村麻由美さん(俳優)をはじめ、走行予定だったランナーの方183名に参加していただき、皆さんが笑顔で思い思いにポーズを決めるなど、和やかな雰囲気の中終了することができました。

8月にはパラリンピック聖火フェスティバルを開催しました。まず、県内の特別支援学校9校において「まいぎり」で火をおこし採火。次に、それら9つの火を県産業展示館2号館において上村知佳さん(シドニーパラリンピック車いすバスケットボール銅メダリスト)の立会いのもと「い



まいぎりで火起こし

しかわの火」として1つに集火。代表生徒の出立宣言のあと「いしかわの火」は東京で行われる集火式に向けて送り出されました。

4. オリンピック・パラリンピック教育の推進

(保健体育課)

これは「オリンピック等との交流やオリンピック・パラリンピックに関する学びを通して、スポーツの価値、国際・異文化、共生社会への理解を深めるとともに、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現につなげる」ことを目的に、スポーツ庁の委託により全国展開された事業です。

本県では2017年から5年間にわたり、年度ごとに実践推進校として指定された小学校、中学校、

高校のそれぞれ2校および特別支援学校1校で実施した「スポーツ選手派遣事業」と、能登、金沢、加賀の3地区ごとに実施した「スポーツ選手ふれあい事業」において、オリンピック、パラリンピアン(本県ゆかりの17名を含め延べ53名)による講演や競技体験を実施しました。



野口みずきさんによるオリパラ教育

<おわりに>

本県から大会組織委員会に4年間派遣され、カヌースポーツマネージャーとして大会成功のために奮闘してきた古谷利彦氏(スポーツ振興課)はこう話してくれました。

「アスリート、スタッフ、ボランティア、大会に関わる全ての人々は、忍耐強く、スポーツの力を信じ、大会を取り巻く様々な困難を乗り越えてきました。大会のモットーであるUnited by Emotion(感動を通じてひとつになる)ということが実現されたと思います。このことは、日本の社会全体にとって素晴らしいレガシーになることを確信しています。」



パラカヌーメダリストと古谷氏

1年延期、無観客等々、異例づくめではありましたが、コロナ禍に屈することなく大会開催を果たした関係者の「やり遂げる結束力」にはただただ敬意と感謝しかありません。このことをしっかりと心に留めておくこと、そして、今回紹介した本県の取り組みも含め、心を動かされ続けた東京オリンピック・パラリンピックを通じ、私たちが教えられたスポーツの力、人間の力というものをこれからの一人一人の生活の中で、また社会の中で発揮していくこと、それを忘れてはいけなからためて思っています。

事業報告

教育資料収集整理事業

今年度の「いしかわ教育ウィーク関連事業」では、教育資料ロビー展と教育史セミナーの関連性を持たせ、これまでの収集資料等の一部を公開いたしました。そして、当会館で所蔵している資料等を皆様に知っていただきつつ、本事業の方向性も考えていくものとしたしました。

これまでの38年間で、所蔵している教育関連書籍や物具も5万8千点を超えました。素晴らしい、想いのあるそれらの収集資料を価値付け、そして広く県民の皆様を知っていただく機会となれば幸いです。また、当財団では教育物具の収集にも力をいれております。皆様のお手元に寄贈しても良いと思われるものがありましたら、ぜひご連絡ください。

「いしかわ教育ウィーク」関連行事 期間：令和3年11月1日(月)～7日(日)

文教会館所蔵 第227回教育資料ロビー展

教材・教具の変遷 ～時代とともに変わりゆく学びの道具～



これまで収集してきた教科書を中心とした教材や教具を展示するとともに、今現在行われている授業の様子も紹介しました。そして、過去から現在に至るまでの間、工夫し進化し続けてきた学びの道具をふり振り返りながら、これからの教育活動について想いを巡らせる空間を意識して展示いたしました。多くの皆さんにご来場いただき、ありがとうございました。



教育史セミナー 令和3年11月5日(金)

「学校に関する資料の収集・保存と教育史研究」

講師 鳥居 和代 氏

金沢大学人間社会研究域 学校教育系 教授

収集された膨大な数の教科書、教育図書等の書物と教育物具。これらを単なる過去のものとして保管するのではなく、どのように活用することができるのかという部分を、鳥居先生の研究事例を基にご講演いただきました。これまでの学校の歴史だけではなく、指導資料などからはその貴重さが十分伝わってきました。また、過去の様々な資料を収集・保存していくことは、これからの教育活動を考えた上でも大切なことだと思われまます。そのために当財団が行っている本事業について、より多くの皆さまに知っていただけるよう広報し、必要な資料等についてもご活用いただけるよう工夫を重ねていきたいと思っています。

【感想】

貴重なお話を伺いました。現状では個人情報の扱いが難しく、保存年限が過ぎると廃棄されることがほとんどのように思われます。特に生徒指導にかかわる分野ではなおさらです。しかし、そういう資料こそ実像に迫るために必要であり、公的な規定の下保存されていくことを望みます。なお、今であればまだ学校に残っているものもあります。行政から提出を求めることも必要かと思われまます。



さらに今回は、これらの事業にご協力いただいている資料調査員の皆様による「資料調査員会」そして「教育史セミナー」に、ZOOMを利用したオンライン形式も取り入れまました。コロナ禍でなかなか集まる機会が持てなくなる中、今後もそのあり方を模索していきます。皆様のご協力に感謝いたします。

教育資料収集整理事業 推進委員会

令和4年2月8日(火) 文教会館地下資料展示室

今年度初めての顔合わせとなった推進委員会が行われまました。現在の状況と次年度の事業計画について確認し、多くの意見やアイデアをいただきました。

この推進委員会は、8教育団体※から推薦された委員で構成されており、例年貴重なご意見を頂戴してまます。

※県小中学校長会・県高等学校長会・県退職校長会・県高等学校退職校長会・県PTA連合会・県高等学校PTA連合会・県教育振興会・県特別支援学校長会



第33回 いしかわ県民陶芸展

期間：令和3年1月16日(土)～1月24日(日)

いしかわ県民陶芸大賞

● けんすいー花器

寺西 芳男 (一般・金沢市)



【審査員寸評】

この作品は色味が少なく、形もそれほど変形していないが、見た時に見た人の心によって色が付く作品。器として、最高の出来である。

★文教会館理事長賞 10点★

【一般の部】

- | | |
|-----------|-------|
| ● 網目松 水差 | 加藤 愛子 |
| ● 挑躍 | 山口 紗花 |
| ● 春の芽生え | 川端 哲朗 |
| ● 壺『うずしお』 | 谷 光祥 |
| ● つぎはぎコーデ | 加藤 章子 |

【青少年の部】

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ● ぞう | 上谷内 粋 |
| ● 遊 | 小中 達喜 |
| ● 黒搔き落とし陶板時計『祭』 | 県立加賀高等学校 |
| | 宋 佳慧、高浜 愷耀、松本 療 |
| | 松本 勇心、宮地 優果、山村 菜々美 |
| ● 「変な大きい皿」 | 宮丸 巧弘 |
| ● HATHI | 山崎 莉瑠芭 |

今年も、県内の陶芸愛好家の皆様から数多くの力作が寄せられました。昨年に引き続き、4階和室大会議室での開催となりました。作品は一般72点、青少年145点、招待作品2点の合計219点にのぼり、出品者も5歳から93歳と幅広い年齢層にわたりました。出品者の皆様には、感染症対策で創作活動にも影響があったことと思いますが、出品にご協力いただき心から感謝申し上げます。

審査員の先生方からは、『バラエティに富んだ作品が多い。楽しむことで思い出もつくてほしい。また、今年作品はとてもカラフルで、造形と色が合っている。進歩の証である。』との感想をいただきました。

会期中たくさんの方々にご鑑賞いただき、盛況のうちに幕を閉じました。ご出品いただいた皆様はもちろん、ご来場いただいた皆様、運営を支えてくださいました企画委員をはじめとする多くの皆様方に心から感謝いたします。誠にありがとうございました。

★石川県教育委員会賞 2点★

● 壺

北口 修 (一般)



【審査員寸評】

きちんと轆轤で形を整えるよりも、この作品の歪んでいるところが、かえって作者の心のぬくもりを感じさせる。浮彫の線からも会話をしながら彫っていく心の温かさを感じる作品である。

● 梟

佐渡 蓮 (青少年)
県立田鶴浜高等学校

【審査員寸評】

梟の羽を1枚ずつ貼っていく作業は、自分との会話である。釉薬の流れ方に沿って貼っていく様が、作品とおしゃべりをしているようだ。梟から声が聞こえてきそうである。

いしかわ県民陶芸展の表彰式・作品解説の様子をYouTubeで配信しています。石川県文教会館ホームページからご覧ください。



審査会の様子



作品解説の様子



展示会場の様子



事業紹介

令和4年度 文教国際理解講座のご案内

～ネイティブスピーカーによる異文化理解講座です～

講座名	内容	曜日	講座時間 (100分)
英米文化 初級	挨拶程度の会話をしよう (英検3級程度)	木	10:00～11:40 18:30～20:10
英米文化 準中級	英語で簡単な会話が できるように (英検準2級程度)	火 水 木	18:30～20:10 10:00～11:40 18:30～20:10
英米文化 中級	英語で日常の会話が できるように (英検2級程度)	火 水 木	10:00～11:40 10:00～11:40 18:30～20:10
英米文化 上級	日本語同様に会話が できるように (英検準1級程度)	火	18:30～20:10

実施期間：令和4年5月～
令和5年2月
対象：教職員・一般・高校生
定員：1講座20名程度
受講料：年額36,000円(年35回)
(教材は実費負担)
応募期間：令和4年3月10日(木)
～4月10日(日)
申込方法：文教会館までお問い合わせください。
※当館のホームページから申込書をダウンロードできます。
※今年度は韓国・中国語講座の募集はいたしません。



言葉や文化を学ぶ楽しい
ひとときをぜひお楽しみください

文教国際理解講座 検索

※応募期間が過ぎても定員に空きのある講座には途中入会ができます。



令和4年度 文教アートウェイブのご案内

～演劇・演奏会・リサイタル等にご利用ください～

文教アートウェイブ事業では、地域文化の振興を図ることを目的に、演劇や演奏会等の公演を希望される方に利用料と冷暖房費を無料でホールをお貸ししています(照明設備費等有料)。公演ご希望の方は文教会館事業課までお問合せください。

<今後の公演予定>

※公演の日時等が変更になる場合があります。

金沢伏見高校文化部発表会 ◆入場無料	令和4年3月19日(土) 13:00～(開場12:30)
金沢辰巳丘高校合唱部・吹奏楽部 ◆入場無料	令和4年3月20日(日) 14:00～(開場13:30)
金沢向陽高校・津幡高校軽音楽部 ◆一般300円	金沢向陽&津幡バンド 令和4年3月25日(金) 18:30～(開場18:00)
金沢泉丘高校合唱部 第12回定期演奏会 ◆一般500円	令和4年3月26日(土) 14:00～(開場13:30)



R3 松田薫子ミニピアノリサイタル



R3 金沢桜丘高等学校吹奏楽部

令和5年度のアートウェイブ公演の募集期間は
令和4年5月1日(日)から
9月30日(金)まで。
お待ちしております!

★応募や公演予定の詳細は、当館ホームページからご覧になれます。公演申込書もダウンロードできます。

令和4年度 「教育文化研究会」募集のご案内

※参加ご希望の方は、文教会館事業課までお問い合わせください

	研究会名	定員	年会費	内容	日時
I	もっと知りたいアジア	10名	3,000円 全6回	アジア文化圏の地理、歴史、時事問題に関心を寄せ、ときにはビーズやアジア料理なども愉しむ。	奇数月第2土曜日 14:00～16:00
II	源氏物語を楽しむ	10名	11,000円 全22回	『源氏物語』の原文をはじめ、さまざまな文献にあたり古典の奥深さを味わう。	第3・4土曜日 10:00～12:00
III	茶道入門教室	10名	11,000円 全22回	初心者のための茶道入門。お茶のいただき方、簡単なお点前、作法を1年間で学ぶ。(流派:表千家)	第1・3月曜日 12:00～16:00
IV	近世芸能研究会	15名	12,000円 全24回	漢詩・短歌・俳句をとおして詩吟を探求する。	第1・3木曜日 18:00～19:00

※文教国際理解講座・文教アートウェイブ・教育文化研究会は、「いしかわ県民大学校」の連携講座です。

事業紹介

教育資料収集整理事業 文教会館教育資料ロビー展のご案内

当財団では、教科書や教育用具・教育文献等の県内の貴重な教育資料の収集保管に努めています。その一環として、当館の1階ロビーで、年間を通し、収集資料や県立学校等の特色ある教育活動を紹介しています。令和4年度は、17回のロビー展（高等学校・特別支援学校等60校の出展）を予定しています。当館のロビー展が県民の皆様にとって、教育に対する関心と理解を深める機会となれば幸いです。いつでもお気軽にお立ち寄りください。

令和4年度 教育資料ロビー展（予定）

場所：文教会館1階ロビー 入場無料

ロビー展の様子

No.	期 間	展 示 名	内 容
234	4月(4/1～7)	文教会館収蔵資料公開展 ～令和3年度収集品の紹介～	令和3年度の収集資料他
235	4月(4/12～5/2)	学校の一年をふり返る	令和3年度の高等学校・特別支援学校の刊行物 (学校新聞・生徒会誌等)
特別 展示	8/2(火)～8/12(金) 県庁19階展望ロビー	石川県文教会館教育資料展 高等学校・特別支援学校の教育活動の紹介	令和3年度の高等学校・特別支援学校の刊行物 (学校新聞・生徒会誌等)
特色ある学校の活動 5月～3月			
No.	期 間	学校名	展示テーマ(仮)
236	5/7(土)～5/17(火)	県立工業高等学校	学校紹介研究作品の展示
		県立羽咋工業高等学校	学校活動紹介
237	5/25(水)～6/5(日)	県立宝達高等学校	学校紹介
		県立田鶴浜高等学校	看護師・介護福祉士への道
		金沢大学附属中学校	STEAM教育の実績
		日本航空高等学校石川	航空人を狙えよう
238	6/10(金)～6/21(火)	県立金沢泉丘高等学校	課題研究活動紹介
		県立穴水高等学校	のとてまり
239	6/28(火)～7/10(日)	金沢市立工業高等学校	課題研究の取組み
		県立小松高等学校	SSH・NSH課題研究紹介
		県立金沢辰巳丘高等学校	大きな明日へ
240	7/15(金)～7/26(火)	県立医王特別支援学校	学校紹介
		県立金沢二水高等学校	金沢二水高校の教育活動
		県立羽松高等学校	学校紹介
241	8/4(木)～8/16(火)	小松市立高等学校	学校活動の紹介
		県立七尾特別支援学校 珠洲分校	学校紹介
		県立鶴来高等学校	学校紹介
		県立門前高等学校	門前高校の活動について
242	8/19(金)～8/30(火)	県立七尾特別支援学校	児童生徒の制作品
		県立七尾特別支援学校 輪島分校	学校紹介
		県立羽咋高等学校	羽咋高校の紹介
243	9/2(金)～9/13(火)	県立七尾城北高等学校	学校紹介
		県立能登高等学校	学校紹介・生徒作品
		県立いしかわ特別支援学校	学校紹介と作品展示
		県立金沢錦丘高等学校	本校1年生・2年生が取り組む課題研究の様子
244	9/17(土)～9/28(水)	県立金沢西高等学校	金沢西高校の紹介
		県立盲学校	学校紹介
		県立金沢錦丘中学校	中高一貫教育校 金沢錦丘中学の特色
		県立大聖寺高等学校	学校紹介
245	10/4(火)～10/16(日)	県立七尾東雲高等学校	石川県立七尾東雲高等学校
		金沢龍谷高等学校	国際姉妹校交流事業の取組み
		県立金沢中央高等学校	学校紹介
246	11/1(火)～11/7(月)	県立翠星高等学校	食・農・環境を学ぶ翠星高校
		県立寺井高等学校	学校紹介と作品展示
247	11/10(木)～11/21(月)	県立野々市明倫高等学校	学校紹介
		県立加賀高等学校	加賀高校紹介
		県立志賀高等学校	学校紹介
		県立錦城特別支援学校	錦城特別支援学校作品展示
248	11/26(土)～12/7(水)	県立金沢伏見高等学校	金沢伏見高校の紹介
		県立鹿西高等学校	鹿生生の活動
		県立七尾高等学校	SSH・NSHの活動について
249	12/14(火)～12/25(日)	県立輪島高等学校	地域の魅力を発信する輪島高校
		県立小松商業高等学校	学校の概要(取組み)
		県立金沢桜丘高等学校	学校紹介
250	1/17(火)～1/29(日)	県立明和特別支援学校	明和特別支援学校の紹介
		県立内灘高等学校	学校紹介
		県立小松工業高等学校	学校紹介
251	2/1(水)～2/12(日)	県立金沢向陽高等学校	学校紹介
		県立飯田高等学校	学校紹介
		県立金沢北陵高等学校	金沢北陵高等学校紹介
252	2/17(金)～2/27(月)	県立小松特別支援学校	学校紹介と作品展示
		県立小松瀬戸特別支援学校	学校紹介
		県立ろう学校	学校紹介
253	3/4(土)～3/15(水)	県立大聖寺実業高等学校	地域と連携した教育活動
		県立小松北高等学校	創立70周年を迎えて
		県立津幡高等学校	津幡高校の活躍
254	3/17(金)～3/27(月)	県立小松明峰高等学校	小松明峰高等学校紹介
		県立金沢商業高等学校	学校紹介および金商デパートの歩み
255	3/24(土)～3/31(水)	県立加賀聖城高等学校	錦城山プロジェクトの取組
		県立松任高等学校	学校紹介



県立羽咋高等学校



金沢市立工業高等学校



県立能登高等学校



県立七尾特別支援学校珠洲分校



県立鹿西高等学校

★これまでのロビー展の様子は当館ホームページからご覧いただけます。また、YouTubeでも動画を配信しています。どうぞご覧ください。

教育資料ロビー展

検索

施設紹介

新型コロナウイルス感染予防策として、来館者にマスクの着用を求めるほか、手指消毒用アルコールの設置、非接触型体温計の貸出し、ドアノブ・手すり等こまめに消毒液による清掃を実施しています。

研修や会議、交流の場としてご利用ください。一般の方もご利用いただけます。お気軽にお問い合わせください。

～施設設備案内～

各種演奏、ご公演などに適した音響・照明完備のホールです。(590席)



土・日曜日にホールを1日(9時～17時)利用して、照明代冷暖房費用を含めて10万円以下でご利用できます。
※楽屋及びリハーサル室のご利用は無料です。



Wi-Fi 機器の設置について



大会議室、和室大会議室など、ほとんどの会議室にWi-Fi機器を設置いたしました。ZOOMでのリモート会議等に、無料でご利用いただけます。プロジェクター(スクリーン付き、税込み2,200円)と組み合わせてもご利用いただけます。

少人数の打合せから研修・講演会まで、用途やご利用人数に合わせて、様々な大きさ・タイプの会議室をご用意しています。



様々な用途にお使いいただける会議室のほか、茶室や応接室もあります。



★和室大会議室★

中庭の見える会議室(スクール形式 約30名 使用可)



9時～12時まで利用して、8,490円です。

カーペット敷の和室大会議室。風通しが良く、新型コロナウイルス感染症予防対策もばっちりです。

喫茶コーナー「エース」よりお知らせ

～セール開催中～

5人以上で会議室をご利用の際は、5杯以上のご注文で、ホットコーヒー・アイスコーヒーを、それぞれ1杯あたり**200円(税込み)**で提供させていただきます。(土曜、日曜、祝日を除く) スタッフ一同ご注文をお待ちしております。



ビーフカレーセット
食後のコーヒー付き
650円



喫茶コーナー「エース」ではコーヒー、紅茶など各種お飲み物や、トースト、ピラフ、パスタ、カレーライス、カレーうどんなど軽食をご用意しております。
コロナ対策にアクリル板も設置しております。

トースト 210円
カレー 390円
ピラフ 360円
カレーうどん 360円
パスタ 360円

当館ホームページで詳細をご覧ください。街なかのオアシス「文教会館」をぜひご利用ください。

